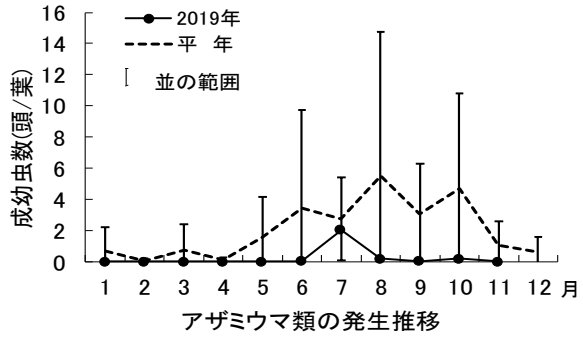
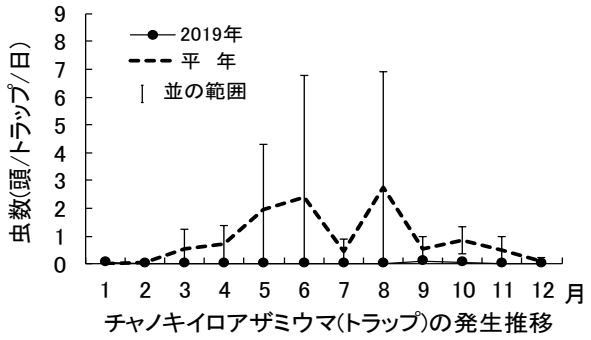
平成　31 年度　　1 月予報

| 作物 | マンゴー | 地域 | 宮古群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | チャノキイロアザミウマ | | |
| 予報 | 1 月の発生量（平年比） | ー | |
| | 12 月からの増減傾向 | ー | |
| 予報の根拠 | 12 月の発生量（平年比） | - | |
| | その他<br>(気象要因など) | | |

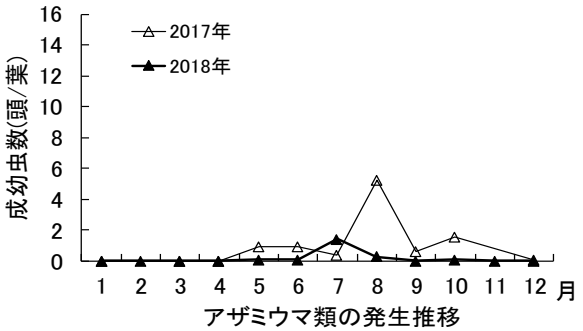
調査結果

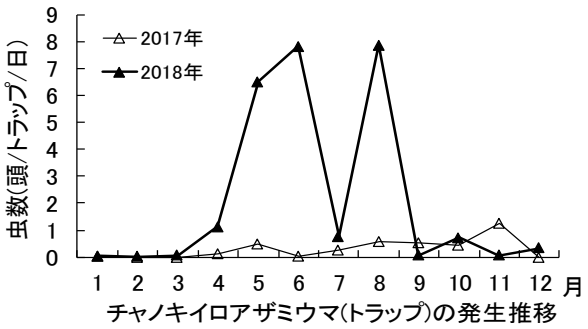
今期と平年の推移




過去2年間の推移




・新梢数が基準に満たなかったため12月のデータなし

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

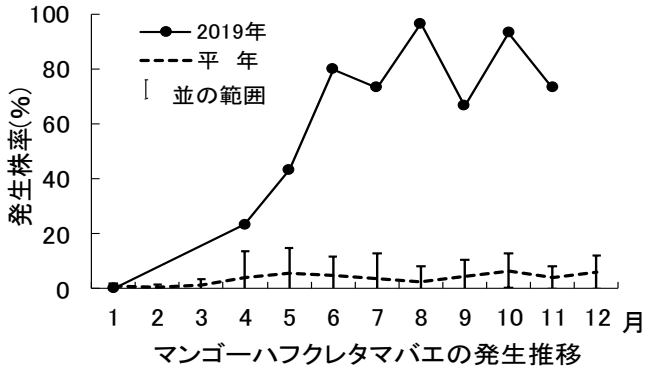
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　1 月予報

| 作物 | マンゴー | 地域 | 宮古群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | マンゴーハフクレタマバエ | | |
| 予報 | 1 月の発生量（平年比） | - | |
| | 12 月からの増減傾向 | - | |
| 予報の根拠 | 12 月の発生量（平年比） | - | |
| | その他<br>(気象要因など) | | |

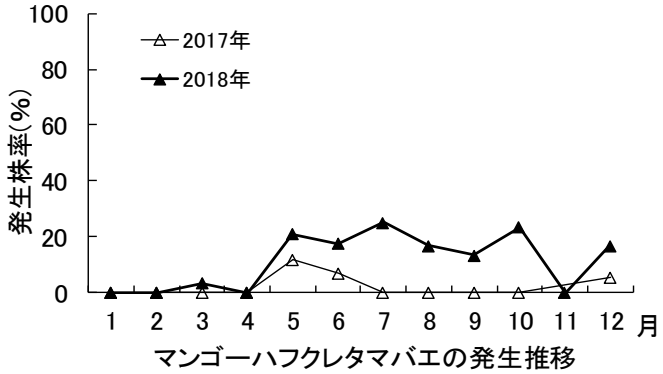
調査結果

今期と平年の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

過去2年間の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・新梢数が基準に満たなかったため12月のデータなし

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

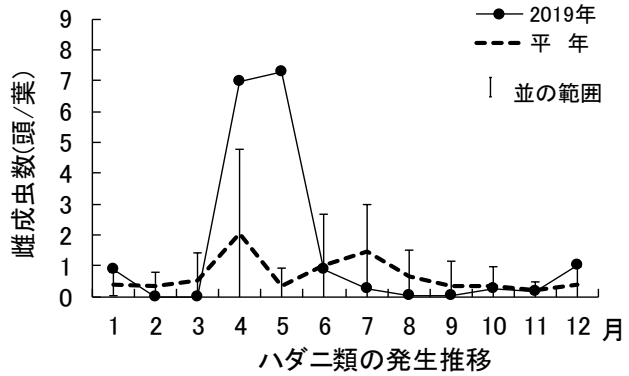
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

平成　31 年度　　1 月予報

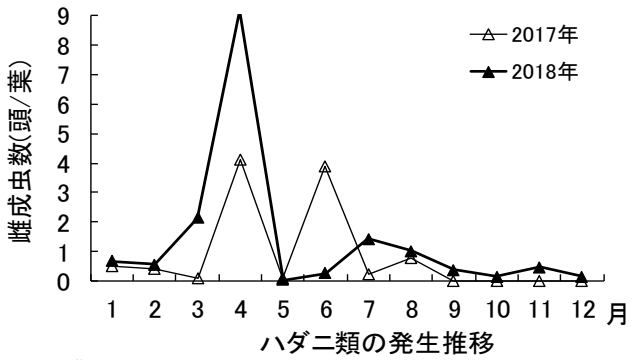
| 作物 | マンゴー | 地域 | 宮古群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① ハダニ類 | | |
| 予報 | 1 月の発生量（平年比） | 並～やや多 | |
| | 12 月からの増減傾向 | → | |
| 予報の根拠 | 12 月の発生量（平年比） | やや多 | |
| | その他<br>(気象要因など) | 平年の発生量の推移（→） | |

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移




・発生種：シュレイツメハダニ
・発生施設率：40.0%（平年値：29.8%）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。